



意志あるお金、募金のチカラ。
赤い羽根共同募金



ご協力をお願いします。
徳島県共同募金会

ホームページ



社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会

〒770-0943 徳島市中昭和町1丁目2番地 徳島県立総合福祉センター内
tel:088-654-4461 fax:088-654-9250
e-mail:office@tokushakyo.jp https://fukushi-tokushima.or.jp/

包括的支援体制の充実に向けて

～オールとくしまプロジェクトの実現～

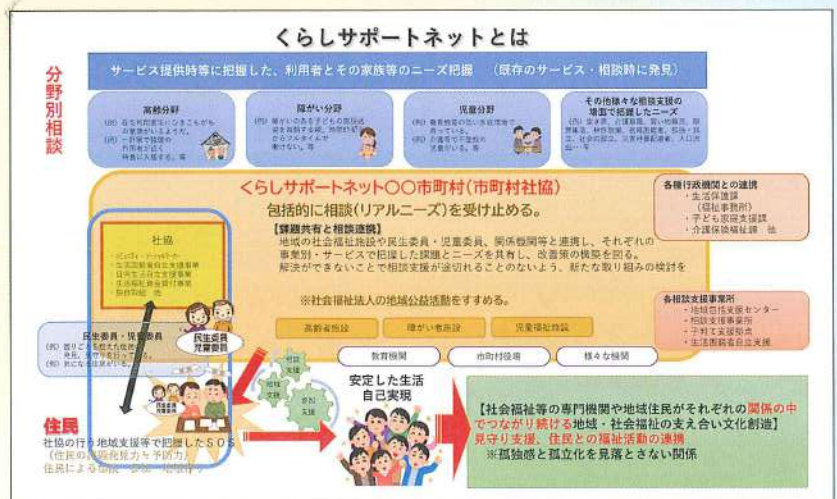
※オールとくしまプロジェクトとは、70万人すべての県民がお互いに支えあい、地域のなかでその人らしく生き生きと暮らすことができる地域共生社会を実現するプロジェクトです。

県社協では、複合的な課題を抱える方や、生活の基盤を失った後に相談される方が一定数おられることから、各市町村圏域における包括的支援体制の構築によるきめ細やかな支援が必要であると考えてきました。

包括的支援体制の構築にあたっては、専門職等による個別支援と住民等による地域づくりを一体的に取り組むことが重要と捉え、さらには社会参加の機会の創出をすすめることが、地域のなかの孤独・孤立を早期発見や、見落とさない見守り体制の強化へとつなげるためにも極めて重要となります。そこで、本会では市町村社会福祉協議会が中心となり、はじめの一歩として民生委員・児童委員や社会福祉関係施設と協働して地域の課題に向き合うための仕組み“暮らしサポートネット”の構築を提案してまいりました。

それぞれの地域づくりや社会参加を推進するためには、“暮らしサポートネット”の中心を担うすべての社会福祉協議会職員が、同じ視点で相談支援のあり方を理解することが重要です。そこで、相談支援に関する様々な事業を横断した相談支援業務等担当職員研修会を奇数月に開催し、相談支援のあり方を共通のものとして捉えることができるよう取り組んでおります。

今後も、本会では、市町村社会福祉協議会が地域福祉の推進と調整役を担い続けることができるよう支援しつつ、包括的支援の視点にたって様々な機関との協働を重ね、にわかには解決できない課題にも果敢に取り組むことができるよう相談支援の充実を図ってまいります。



**徳島県社会福祉協議会
吉岡新会長就任**

社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会
会長 吉岡 宏美

6月29日、徳島県社会福祉協議会社協に就任いたしました。

近年、生活困窮やひきこもりなど、様々な生活課題が明るみになる中、新型コロナウイルスの感染拡大は、社会経済に大きなダメージを与え、県民の皆様の生活に悪影響を及ぼすとともに、その影響の長期化が予測されております。

さらに、毎年、全国各地で豪雨や地震に伴う災害が頻発する中、災害ボランティアセンターをはじめとする災害時の生活支援も重要であり、これらの支援を担う社会福祉協議会の役割は、ますます大きくなってきています。

今後とも、この困難を乗り越えるため、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく「地域共生社会」の実現を目指し、市町村社協をはじめとする関係機関と連携し、しっかりと取り組んで参りますので、より一層のご支援・ご協力をよろしくお願いたします。



わたしのいばしょ みんなのいばしょ
令和5年度「とくしま子どもの居場所づくり推進基金」活用団体紹介

“わくわくこそが 君の地図～子どもと地球の未来をつくる循環する学校”
NPO法人みっけ(神山町)



令和4年4月神山町でオルタナティブスクール「森の学校みっけ」が開校し、入学児童とこれまで放課後活動で繋がってきた地域の子どもの交流が始まった。翌年3月にはNPO法人化し、現在児童数は15名、交流の輪も拡大し、子どもたちを真ん中にして、食スタッフやフィールドスタッフが囲み、その周りには事務局や保護者、理事や地域の方々、離れたところからも応援を送る企業や支援者。これをバラの花にイメージして花びらにはそれぞれのお顔や姿が浮かぶ強くて優しいつながりが「みっけ」の土台である。

令和5年7月「みっけ」のフィールドを訪ねた。神山温泉南側の山道を標高180m地点まで車で登ると「map full of knots」の木製看板。どこからか子どもたちの声が耳に届き、その声をたどって15mほど沢に下っていくと緑の木々の中からロッジのような木造校舎が姿を現した。私たちが発見した子どもたちが立ち上がって「こんにちは」と声をかけてくれる。床に座ってスタッフと一緒に本を読んだり、話をしたり、お絵かきや工作、小物を使った遊びなど、子どもたちが自然の中で自由な時間を過ごしていた。

木造校舎は、開放感ある設計で広いバルコニーが設けられている。ここでは、林に育つ樹木や草花、山に暮らす小動物、さえずる野鳥、水辺の水生物、さらには広葉樹を照らす太陽、夏草の匂い、かけぬける風、涼しげなせせらぎ、これら自然が観察でき、からだで感じることができる。

また、「畑」や「野外キッチン」、「コンポスト」も併設されていて「食を通じた教科横断型の学習」を実践。「みっけ」の子どもたちの主体性と自己肯定感、保護者をはじめ出会った大人たちが特に感心する特長であるが、この自然との繋がりが子どもたちの感受性を鋭敏にし、内的世界を豊かにしていることが、この場所に来てみるとよく分かる。

ここで特筆すべきは、経験豊かなスタッフ陣である。学校づくりを始めたのは神山町在住の5人。これまでに4人の方とお会いした。「地球の循環を考えることが大好きな美緒(代表理事)」「世界を旅して多様性を体験したらんぼう」「食を中心に自然に寄り添い暮らす麻衣」「丁寧な対話から平和な世界を作り出す奈津子」。

私たちの普段の暮らしの中で当たり前にあるモノの「もと」、水道から出てくる水、朝食のお米、スーパーに並ぶ肉や魚、住んでいる家の基礎、捨てられるゴミ。これらはどこから来て、どうなって、どこへ行く、と暮らしの「もと」と真正面から向き合う「生きた学び」を通じて、子どもと地球の未来をつくるための持続可能な社会へシフトしていく文化を育てている。そしてその行動指針は「わくわく」。

「みっけ」はスクールの子どものもとと地元小学校に通う子どもたちとで「森づくり」(土壌改良、植樹、薪割りなど)を通じた交流活動も続けている。「大きくなったらこの森を守る、ここで子どもたちが遊べるようにする。」参加児童の言葉には、「君の地図」に置かれた羅針盤が20年先を示したように感じた。



子ども虐待防止オレンジリボン

オレンジリボン運動は、「子ども虐待のない社会の実現」を目指す市民運動です。オレンジリボンは、そのシンボルマークであり、オレンジ色は、子どもたちの明るい未来を表しています。皆さんが、それぞれ胸にオレンジリボンを着けることで、子ども虐待防止の活動に参加していただけます。この活動の広がり、社会を変えます。「一人一人ができること」をして、「子ども虐待のない社会」をつくりましょう。

徳島県児童養護施設協議会では、「オレンジリボンすだちくんピンバッジ」を作成し、オレンジリボン運動を推進しています。収益金は、次年度以降のピンバッジ作成費用に充て、オレンジリボン運動の広がりにつなげます。ぜひ、お申し込みください。(1ヶ 500円(税込))

徳島県マスコット「すだちくん」

申込先：徳島県児童養護施設協議会
電話：088-654-4461 F A X：088-656-1173 メール：yougo@tokushakyo.jp



「福祉就職転職ガイダンス2023」を開催しました!

令和5年8月28日(月)、徳島グランヴィリオホテルにおいて、「福祉就職転職ガイダンス2023」を徳島県と共同開催しました。

当ガイダンスは、「求職者との貴重な出会いの場」として、福祉の仕事に関心のある学生や一般の方を対象に、福祉の仕事の魅力や福祉職場の具体的な情報提供等を行うことで、就業意欲を高めることを支援するとともに、福祉人材の安定的な確保と定着の推進やUターン促進、将来的な福祉人材の確保を図ることを目的に実施しています。

今回新たに、参加が難しい県外学生についてはオンラインによる参加を可能とし、より多くの学生が参加できるよう参加機会の拡大を図りました。

会場では、30名余りの来場者が、徳島労働局、ハローワークなど公的機関に福祉の仕事に必要な資格や就労情報などの相談を行うとともに、県内の高齢者・障がい者福祉施設を実施している50事業所からは、それぞれ自所の仕事内容や職場の魅力や伝えるために工夫を凝らした説明を受け、熱心に耳を傾けていました。来場者の皆様からは、「多数の事業所の情報収集ができ役に立った」、「資格の内容や取得方法が分かり、進路選択等に役に立った」といったお声をいただきました。

徳島県福祉人材センターでは、今後も福祉人材の安定的な確保と定着に向け、求職者と社会福祉事業所とのマッチングの機会を設けるとともに、福祉職場のネガティブイメージを払拭するための正確な情報発信に努めて参ります。

各相談ブースの様子



福祉のお仕事探しをサポート

徳島県福祉人材センター

アイネット

福祉施設紹介動画「とくしま福祉の就活WEB版」掲載事業所募集中
詳細はアイネットHPで!

徳島県内の福祉のお仕事の求人登録・紹介斡旋・再就職のためのセミナー等を開催しています。是非ご利用ください!

TEL：088-625-2040
〒770-0943 徳島県徳島市中昭和町1丁目2
徳島県社会福祉協議会
徳島県福祉人材センターアイネット

ふくしと私



社会福祉法人 うずしお保育園

保育士 安藝 あき

晋 すすむ

鳴門市撫養町にあるうずしお保育園に就職して15年、現在2・3歳児クラスの担任として23名の元気な子どもたちと毎日楽しく過ごしています。私が保育士を目指すきっかけになったのは、今まさに働かせていただいているうずしお保育園であり、中学3年生の時の職場体験をさせていただいた時でした。子どもたちと遊んだり、着替えなどを手伝ったりと大変そうでしたが、子どもたちから慕われ



身体も心も解放できる泥んこプール

ている保育士さんの姿を見てこんな素敵な仕事があるんだなと感銘を受け、保育士という職業を視野に入れるようになりました。

高校では、ラグビー部に所属しました。One for all All for oneという言葉を知り、ラグビーを通して厳しい状況に耐える忍耐力と仲間のことを思い、共に力を合わせて乗り越えることの大切さを学びました。この経験が今の保育士の仕事にも活かされていると思っています。また、その中で子どもたちにラグビーを教える機会もあり、子どもたちと触れ合う中でやっぱり自分も子どもが好きなんだなと思い、本格的に目指すようになりました。

徳島文理大学短期大学部保育科に入学し、保育のことについて学びました。大学では、ピアノの試験や保育園、幼稚園実習など様々な勉強があり、特に保育実

習の設定保育では保育を自分で考え日案を立てたり、子どもたちの前に立つ緊張感などで押しつぶされそうになり、初めての保育での壁を感じました。しかし、その自分が考えた保育で子どもたちが楽しんでる姿を見たり、達成感などを感じていくことでやはり保育の仕事は素晴らしいと思いき、縁もあり今勤めているうずしお保育園に就職させていただ

きました。いざ就職して保育士として働いてみると、日々の保育だけでなく書類、保護者対応など自分が思っていた以上に大変でギャップを感じ、何度もう心が折れそうになり保育の仕事をやめようと考えたこともありましたが、一緒に働いている上司や先輩が親身に相談を受けてアドバイスをしてく



園舎

ただいたり、家族の支えや、励ましのおかげで今まで続けて来れたと思っています。今では自分も親になり、自身の頃よりは保護者の気持ちに寄り添えるようになり、また、後輩もたくさんできたので自分も子どもや保護者、同僚の支えになれるように笑顔忘れず日々の保育に努めていきたいと思っています。

「人は食べたものでできている」

とみた みのる 富田 実
一般社団法人在宅栄養ケア推進基金 業務執行理事



1. 人の細胞は食べたものでできている。筋肉も、内臓も、脳も。

「人は食べたものでできている」…これは、読売新聞に掲載されたキュービー株式会社の企業広告のフレーズです。同社は、マヨネーズを日本で初めて製造・販売した食品企業で、卵黄タイプで栄養価の高いマヨネーズで「日本人の体位向上に貢献し、現在では、高齢者の低栄養防止・フレイル対策にも注力されています。マヨネーズの主要成分である「卵」は、アミノ酸スコア100(アミノ酸スコアとは、食品中に含まれる必須アミノ酸のバランスを評価したもので、アミノ酸スコアは100に近いほど良質なタンパク質食品)の良質なタンパク質、ビタミンA、B群、D、E、Kなどのビタミン類、亜鉛、カルシウム、リン、鉄などのミネラル類を豊富に含む、生活習慣病の予防・改善効果のあるレシチン、コリン、カロテンノイドなどの機能性成分を多く含んでいます。

卵の効用については、長野県を健康長寿県へ導かれた鎌田實先生(諏訪中央病院/名誉院長)の著書で「僕は、卵を1日に約3個食べています。卵には、タンパク質が多く、認知機能の維持に良いと注目されているコリンが含まれているからです。コリンは、体内に入るとレシチンの材料になり、さらに神経伝達物質のアセチルコリンの材料になります。したがって、コリンが不足すると記憶力の低下や認知症を起こすことがわかっています。卵はビタミン12と一緒にとるとアセチルコリンに変わりやすいので、組み合わせるとより効果的(*ビタミン12は、鮭、鱈、海苔、シジミ、アサリなどに含まれています)。」と述べられています。また、鎌田先生は、健康長寿のスーパーフードとして、「高野豆腐」や「粉豆腐(高野豆腐を粉末にしたもの)」を推奨されています。

「高野豆腐」や「粉豆腐」は、コレステロールと中性脂肪を減らすレジスタントタンパクが豊富で、タンパク質量は、生豆腐の約7倍含まれています。その上に、老化を予防するビタミンE、女性ホルモンと似た働きをする大豆イソフラボン、貧血を改善する鉄分、腸を健康に



して免疫力を高める食物繊維が多く含まれることから、「健康長寿のスーパーフード」と称されています。ウクライナ問題に端を発し物価高騰の折ですが、「卵」や「高野豆腐・粉豆腐」は、「家計の救世主」であり、高齢者の低栄養予防・フレイル対策の救世主と言えますので、高齢者は積極的に「卵」「高野豆腐・粉豆腐」を食べて、健康長寿を目指しましょう。

2. 「噛む力」と「飲み込む力」を維持し、オーラルフレイルを予防しよう

高齢者は加齢に伴い、「低栄養リスクが高まりますが、低栄養の原因に「噛む力」と「飲み込む力」の低下が挙げられることから、日本歯科医師会は、「オーラルフレイル(歯や口の機能が衰えた状態)予防の啓発活動を行っています。「オーラルフレイル」とは、口腔機能が健康と機能障害との中間にあり、可逆的(元の健康状態に戻れる可能性があること)であることが特徴です。オーラルフレイルの予防は、滑舌の低下、食べこぼし、わずかなむせ、かめない食品が増える、口の乾燥等、些細な症状に気づき、早めに適切な対応/処置(歯周病やむし歯の予防、入れ歯や義歯の定期的なチェック、歯科検診を行う)ことが重要です。

オーラルフレイルを放っておくと「誤嚥性肺炎」のリスクが高まりますので、注意が必要です。誤嚥性肺炎とは、老化や脳血管障害の後遺症などによって、飲み込む機能(嚥下機能)や咳をする力が弱くなり、口腔内の細菌が食べ物と一緒に誤って気管支や肺に入ることによって発症する疾患で、口腔内が十分清潔に保たれていない場合、肺炎の原因となる細菌がますます繁殖し、発症するリスクがさらに高まることが報告されています。

高齢者の低栄養予防は、口腔の健康(咀嚼能力・嚥下力、嚥下能力・飲み込む力)と密接に関係しますので、いつまでも美味しく食べて低栄養を予防するためには、日頃からの「口腔ケア」に取り組んでいただきたいと思っています。

*日本歯科医師会のホームページ
(<https://www.jda.or.jp/oral-trail/gymnastics/>)
に、「オーラルフレイル対策のための口腔体操」を掲載しています。

ありがとうございます
預託一覧

- 徳島県軽自動車協会様より松茂町社会福祉協議会及び美波町社会福祉協議会へ軽自動車の御寄贈
- 全国農業協同組合連合会徳島県本部様・JA徳島農政協議会様より児童養護施設7か所へ新米と飲料の御寄贈
- 株式会社百十四銀行徳島支店様より当会へ生活困窮者等への支援として保存食の御提供
- 株式会社セブン-イレブン・ジャパン様より、徳島市社会福祉協議会へ店舗改装等に伴う在庫商品の御寄贈

地域とお客さまの「ベストパートナー」へ



阿波銀行
<http://www.awabank.co.jp/>

ともに未来へ
~ to the future with ... ~



徳島大正銀行
トモニホールディングス

楽しみがあるからこそ続けられる

つるぎ町商工会女性部半田支部

つるぎ町半田地区の国道192号線沿いを走っていると、線路沿いに綺麗にカンナやキバナコスモスの花が植えられた景観があります。その距離は約350メートル。手入れをしなければ、線路脇から伸びた雑草が覆い被さってくる上に、ゴミのポイ捨てが多い場所です。

平成元年に、旧半田町商工会女性部の部員がゴミの多さに困り、何とかしたいと、清掃活動と花を植え始めました。これまで31年間、月1回の草刈、清掃、花づくりに50~80代の部員が取り組んでいます。

「草を刈っても刈っても、1ヶ月もすると花が見えないくらいに、草が伸びてくる。続けることは大変だけど、きれいになったところを見ると、気持ちが良いし、道を通る人々から、『きれいになったね』と言って貰えると嬉しいんです。それにきれいになると、活動を続けていることを町の人たちに知って貰える」と代表の北室サキさんはおっしゃいます。

つるぎ町では、コロナ禍の影響もあり、イベントの開催や女性部で集まる機会も減りましたが、月1回の草刈りの後、部員で集まって、お茶を飲みながら、お喋りするの大きな楽しみだそう。「これから新しい部員が増えることは難しく、新しいことにもなかなか挑戦出来ないけれど、今の活動をできる限り続けていきたい」と、活動への想いを語っていただきました。

(令和3年度厚生労働大臣感謝状受賞)



草刈り活動の様子

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和5年度

ボランティア活動保険

商品パンフレットは
こちらから
(ふくしの保険ホームページ)



保険金額・年間保険料(1名あたり)

団体割引20%適用済/過去の損害率による割増適用

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	特定感染症重点プラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円			
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)			
	入院保険金日額		6,500円			
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円		
		外来の手術		32,500円		
	通院保険金日額		4,000円			
	特定感染症	補償開始日から10日以内は補償対象外(*)			初日から補償	
賠償責任	地震・噴火・津波による死傷		×	○	○	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)			
年間保険料			350円	500円	550円	

*3月末までに契約手続きが完了し、前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

<重要>

- ◆基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆特定感染症重点プランでは中途加入の場合でも補償開始日より特定感染症が補償対象となります。
- ◆年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
 保険会社 TEL: 03 (3349) 5137
 受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)
 この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
 TEL: 03 (3581) 4667
 受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)